

〔評価調査者・評価結果〕

1 特徴

I	福祉サービスの基本方針と組織	<p>理念・基本方針を明文化しており、使命・役割を反映している。「ベター保育研究会」や企画検討委員会が機能しており、基本方針やマニュアルなどが毎年見直されている。理念や保育基本方針は、新年度初めに、父母会総会で説明し、園便りを使って保護者や関係機関に配付している。園長の責任領域が決裁区分規定により示されていたが、新たにベター保育研究会が「園長の職責及び役割に関する規定（役割分担）」を作成し、より明確化された。</p>
II	組織の運営管理	<p>職員の意向を把握し、改善する仕組みが構築されている。職員の教育・研修の基本姿勢が明示され、研修計画が一人ひとりについて策定され、実施されている。実習生や中高生の保育体験、ボランティアの受け入れについては、担当者が決められ、受け入れ体制が整備され、職員に周知されている。地域のニーズに応えることを基本に、近隣の人々の理解を得るための取り組みが行われている。園庭開放、子育て相談、子育てひろばなど、様々な取り組みを積極的に行っている。子ども家庭支援センターや市保健福祉総合相談課などと連携している。小学生との交流、小学校の教員との情報交換など小学校との連携に取り組み始めた。</p>
III	適切なサービスの実施	<p>「利用者満足に向けた取り組みについての規定」を作成し、保護者の意向に配慮する姿勢を明示している。平成16年度、17年度には、利用者満足に関するアンケートを実施していたが、18年度、19年度は実施しなかった。20年度については、再び実施した。ベター保育研究会が定期的に開かれ、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。さらに、園長と保育士との個別面談の際にも提案できる機会が設けられている。自己評価に関しては、個人の自己評価をベター保育研究会が集約し、園全体の自己評価としている。成長記録に発達状況などが記録され、ケーススタディやベター保育研究会において、関係する職員に周知されている。情報提供については、情報担当者が決められ、情報提供のために取り組みが行われている。指導計画に個別的なかわりの欄を設けるなど、一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。</p>

IV	<p>子どもの発達援助</p> <p>子どもの発達援助の基本 健康管理・食事 保育環境 保育内容</p>	<p>「年間保育課程」「年間保育課程 I-2 (生活習慣を中心として)」を作成している。保育課程は、保育理念を基に子どもの実態などに配慮しながら作成している。指導計画は、毎月グループ内およびベター保育研究会で話し合いが行われ、翌月に反映されている。感染症発生時に対応する園独自のマニュアルが整備され、発生時には氏名を伏せて保護者と職員に通知している。マニュアルを改訂するなど見直しに努めている。毎月、食事連絡会を開催し、保育士と調理担当者が連携を図り工夫している。年 2 回試食会が実施され、試食会アンケートの結果が献立に反映されている。子どもが心地よく過ごすことのできる環境については、様々な配慮がみられる。子ども一人ひとりを理解し受容する姿勢がみられ、保育者が子どもたちにおだやかにかかわっており、子どもは自発的に活動を展開している姿が随所に見られた。ビオトープなど自然に親しめる環境を用意し、園庭のログハウス、木道、小川など子どもたちの関心を広げる環境となっている。地域社会の福祉ステーションを目指し、子どもたちと地域の人たちとの交流にも配慮している。全体におだやかな雰囲気保育が展開されており、子ども同士、子どもと保育士の関係も安定している。障害を個性としてとらえ、多くの障害のある子どもを受入れ、また保護者との連携に配慮されている。「いっしょっていいね」という理念に基づき、長年にわたって障害児保育の実践を積み重ねてきている。</p>
V	<p>子育て支援</p> <p>入所児童の保護者の育児支援 地域の子育て支援</p>	<p>家庭との情報交換の内容が、毎日の「おはよう・さよならカード」に記録されており、年度末には家庭に返却される。「保育と育児を考える週間」を設定するなどして、保育参加などの機会を設けている。一時保育には、専用のスペースがあり、専任の担当者が配置されており、利用人数も多い。一時保育の子ども用のプログラムが用意されている。</p>
VI	<p>安全・事故防止</p>	<p>「福祉センターさがみ愛育会の衛生管理について」、「食中毒発生対応マニュアル」、「応急処置人工呼吸」、「ヒヤリハット事例集」、「安全管理チェックリスト (安全管理マニュアル)」、「大震災対策基本行動指針」、「不審者の侵入防止のための管理規定」などのマニュアルが整備され、安全・事故防止に努めている。また、17 時から 20 時までガードマンが配置され、不審者に対応している。</p>

## 2 課題

<p>職員の意向を把握し、改善する仕組みができてきているものの、十分には機能していないので、今後は、十分に機能するよう取り組まれることが望まれる。「年間保育課程」「年間保育課程 I - 2」は、保育理念を基に子どもの実態などを配慮しながら作成されているが、保護者の意向についてはさらに十分に受け止めて、計画を作成することが望まれる。食事を楽しむ取り組みはなされているが、子どもが食事を待つ時間についてはさらに工夫することが望まれる。子どもが心地よく過ごすことができるように配慮されているが、さまざまな場面における衛生面の配慮について意識的に再確認されることが望まれる。また、長時間保育の子どもたちについては、今後より一層家庭的な雰囲気になるような配慮が望まれる。</p>
---

### 3 総合所見

子どもが楽しんでいることを保護者が100%評価している点は卓越しており、継続が望まれる。子ども一人ひとりを理解し受容する姿勢が見られ、保育者が子どもたちに穏やかにかかわり、子どもが自発的に活動を展開している。ビオトープなど自然に親しめる環境を用意し、園庭のログハウス、木道、小川など子どもたちの関心を広げる環境となっている。

ベター保育研究会が定期的にかかれ、指導計画の見直し、園全体の自己評価を行い、さらに、今平成20年度は「園長の職責及び役割に関する規定（役割分担）」を作成するなど、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。研修計画が一人ひとりについて策定され、実施されている。

障害を個性としてとらえ、多くの障害のある子どもを受入れ、また保護者と連携にも配慮されている。「いっしょっていいね」という理念に基づき、長年にわたって障害児保育の実践を積み重ねてきている。

### 4 事業者コメント

5 評価項目別 評価

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>			
<b>I-1 理念・基本方針</b>			
(1)	理念が明文化されている。	a 法人の理念、保育理念を明文化しており、保育所の使命・役割を反映している。 b 法人の理念、保育理念を明文化しているが、保育所の使命・役割の反映が十分ではない。 c 法人の理念、保育理念を明文化していない。	<b>a</b>
(2)	理念や基本方針が職員に周知されている。	a 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。 b 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。 c 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付していない。	<b>a</b>
(3)	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。 b 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。 c 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布していない。	<b>a</b>
<b>I-2 施設長の責任とリーダーシップ</b>			
(4)	施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。 b 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。 c 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。	<b>a</b>
(5)	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取り組みを行っている。 b 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っているが、十分ではない。 c 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みは行っていない。	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
<b>Ⅱ 組織の運営管理</b>			
<b>Ⅱ-1 人材の確保・養成</b>			
(6)	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。 b 職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。 c 職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。	<b>a</b>
(7)	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 b 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、十分ではない。 c 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されていない。	<b>a</b>
(8)	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され、計画に基づいた具体的な取り組みが行われている。 b 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されているが、計画に基づいた具体的な取り組みが十分に行われていない。 c 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されていない。	<b>a</b>
(9)	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a 研修成果の評価が定期的に行われるとともに、次の研修計画に反映されている。 b 研修成果の評価が定期的に行われているが、次の研修計画に反映されていない。 c 研修成果の評価が定期的に行われていない。	<b>a</b>
(10)	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。 b 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。 c 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	<b>a</b>
(11)	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a 実習生受け入れの際には、実習の効果をあげる計画を用意する等、育成に取り組んでいる。 c 実習生受け入れの際、実習の効果をあげる計画を用意する等の取り組みを行っていない。	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
Ⅱ-2 地域や関係機関との連携			
(12)	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	<p>a 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。</p> <p>c 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。</p>	<b>a</b>
(13)	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	<p>a 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。</p> <p>c 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。</p>	<b>a</b>
(14)	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	<p>a 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。</p> <p>b 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。</p> <p>c 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。</p>	<b>a</b>
(15)	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	<p>a 積極的に取り組みを行っている。</p> <p>b 取り組みを行っている。</p> <p>c 取り組みを行っていない。</p>	<b>a</b>
(16)	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	<p>a ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。</p> <p>b ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。</p> <p>c ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。</p>	<b>a</b>
(17)	保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	<p>a 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。</p> <p>b 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有していない。</p> <p>c 地域の関係機関についての情報を収集していない。</p>	<b>a</b>
(18)	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	<p>a 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。</p> <p>c 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。</p>	<b>a</b>
(19)	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	<p>a 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。</p> <p>c 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができない体制になっていない。</p>	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(20)	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	a 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。 b 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けているが、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がない。 c 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会がない。	a
<b>Ⅲ 適切なサービスの実施</b>			
Ⅲ-1 利用者本位のサービス			
(21)	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取り組みを行っている。 b 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、職員に周知する取り組みが十分ではない。 c 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。	a
(22)	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a 保護者の意向に配慮する姿勢が明示され、意向を把握する具体的な仕組みを整備している。 b 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されているが、意向を把握する具体的な仕組みが十分でない。 c 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されていない。	a
(23)	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備され、実際にその向上に向けた取り組みを行っている。 b 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されているが、その向上に向けた取り組みが十分ではない。 c 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されていない。	a
(24)	苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している。	a 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能している。 b 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われているが、機能していない。 c 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われていない。	a
(25)	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。 b 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備しているが、迅速に対応していない。 c 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備していない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
(26)	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	<p>a 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。</p> <p>b 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。</p> <p>c 定例会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。</p>	<b>a</b>
(27)	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	<p>a 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。</p> <p>b 保育の内容について、定期的に自己評価を行っているが、職員参加が図られていない。</p> <p>c 保育の内容について、定期的に自己評価を行っていない。</p>	<b>a</b>
(28)	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	<p>a 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。</p> <p>b 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録はあるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。</p> <p>c 一人一人の子どもの記録がない。</p>	<b>a</b>
(29)	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	<p>a 子どもに関する記録管理について規程が定められ、適切に管理されている。</p> <p>b 子どもに関する記録管理について規程が定められ管理されているが、十分ではない。</p> <p>c 子どもに関する記録管理について規程が定められていない。</p>	<b>a</b>
(30)	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	<p>a 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。</p> <p>b 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。</p> <p>c 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を開催していない。</p>	<b>a</b>
(31)	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	<p>a 情報提供をよく行っている。</p> <p>b 情報提供をどちらかといえば行っている。</p> <p>c 情報提供をほとんど行っていない。</p>	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(32)	入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している。	a 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等にわかりやすく説明を行っている。 c 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等に説明を行っていない。	a
Ⅲ-3 サービス実施計画の策定			
(33)	一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	a 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 b 子どもの発達状況に配慮しているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。 c 子どもの発達状況に配慮した指導計画となっていない。	a
Ⅳ 子どもの発達援助			
Ⅳ-1 子どもの発達援助の基本			
(34)	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 b 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。 c 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。	a
(35)	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a 定期的に指導計画の評価を行い、その結果が次の指導計画に生かされている。 b 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に生かされていない。 c 定期的に指導計画の評価を行っていない。	a
Ⅳ-2 健康管理・食事			
(36)	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の発育・発達状況、健康状態に応じて実施している。	a 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 b 健康管理は、マニュアルなどはないが子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 c 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。	a
(37)	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 b 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 c 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達していない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(38)	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 ..... b 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 ..... c 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達していない。	<b>a</b>
(39)	感染症発症時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 ..... b 感染症発生時に対応できるマニュアルはないが、発生状況を保護者、全職員に通知している。 ..... c 感染症発生時に対応できるマニュアルもなく、保護者、全職員に通知していない。	<b>a</b>
(40)	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a 食事を楽しむことができる工夫をしている。 ..... b どちらかといえば工夫をしている。 ..... c 工夫をしていない。	<b>a</b>
(41)	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている。	a 十分に対応している。 ..... b どちらかといえば対応している。 ..... c 対応していない。	<b>a</b>
(42)	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a よく連携している。 ..... c あまり連携していない。	<b>a</b>
(43)	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 ..... c アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得ていない、あるいは得ていても適切な対応を行っていない。	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
IV-3 保育環境			
(44)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a よく整備されている。 ..... b どちらかといえば整備されている。 ..... c 整備されていない。	<b>a</b>
(45)	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a よい取り組みが行われている。 ..... b どちらかといえば取り組みが行われている。 ..... c 取り組みが行われていない。	<b>a</b>
IV-4 保育内容			
(46)	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	a 子どもをよく受容しようと努めている。 ..... b どちらかといえば子どもを受容しようと努めている。 ..... c 子どもを受容しようと努めていない。	<b>a</b>
(47)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	a 一人一人の子どもの状況に応じてよく対応している。 ..... b どちらかといえば対応している。 ..... c 対応していない。	<b>a</b>
(48)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a よく整備されている。 ..... b どちらかといえば整備されている。 ..... c 整備されていない。	<b>a</b>
(49)	身近な自然や社会とかわれるような取り組みがなされている。	a よく取り組みがなされている。 ..... b どちらかといえば取り組みがなされている。 ..... c 取り組みがなされていない。	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(50)	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(51)	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(52)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(53)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(54)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(55)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>
(56)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 ..... b どちらかといえば配慮されている。 ..... c 配慮されていない。	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
<b>V 子育て支援</b>			
V-1 入所児童の保護者の育児支援			
(57)	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	<p>a 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。</p> <p>b 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、個別面談などは行っていない。</p> <p>c 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。</p>	<b>a</b>
(58)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	<p>a 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。</p> <p>c 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されていない。</p>	<b>a</b>
(59)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	<p>a 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。</p> <p>b 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。</p> <p>c 懇談会などの話し合いの場を設けていない。</p>	<b>a</b>
(60)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	<p>a 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。</p> <p>b 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっていない。</p> <p>c 虐待などの早期発見に努めていない。</p>	<b>a</b>
(61)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	<p>a 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。</p> <p>c 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。</p>	<b>a</b>

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
V-2 地域の子育て支援			
(62)	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a 一時保育の内容や方法によく配慮している。 b 一時保育の内容や方法にどちらかといえば配慮している。 c 一時保育の内容や方法に配慮していない。	a
VI 安全・事故防止			
VI-1 安全・事故防止			
(63)	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。 b 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。 c 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがない。	a
(64)	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。 b 食中毒等の発生時に対応できるマニュアルはあるが、全職員には周知されていない。 c 食中毒に関するマニュアルがない。	a
(65)	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 b 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 c 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。	a
(66)	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 c 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。	a
(67)	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b 不審者の侵入時に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 c 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがない。	a